

マミーは外国人

～世界の母の日編～

下宿生の方の中には一人暮らしを始めて、また自宅生も下宿生の話を聞くことで家族のありがたみを日頃感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は世界の母の日を取り上げてみました。この機会に今までの感謝の気持ちを表してみましょう。(茶休)

アメリカ

～母の日発祥の国～



もともと母の日はアメリカで生まれた風習です。ある女性が亡くなった母親を追悼したいという思いから白いカーネーションを贈ったことが、母の日の始まりと言われています。これをきっかけに生者には赤いカーネーション、死者には白いカーネーションを贈るようになりました。この習慣がアメリカ全土に広まり、1914年に5月の第2日曜日が「母の日」と正式に制定されました。

オーストラリア

～プレゼントは菊の花!?～



オーストラリアでも母の日は5月の第2日曜日です。オーストラリアで母の日の花として一般的なのは、なんと日本では不吉だと考えられがちな菊の花です(実際は日本で最も高貴な花なのですが……)。一説では菊の英語表記である「Chrysanthemum」の「mum(母)」が由来で母の日に贈る花として定着したと言われています。また、日本と同じようにホテルでは特別な朝食や昼食を提供してくれる母の日プランもあります。

フィンランド

～お金に勝るプレゼント～



フィンランドも同じく5月の第2日曜日が母の日です。フィンランドで最も喜ばれる母の日の花は、「ヴオッコ(Vuokko)」という二輪草の野花です。こどもたちはこの花を買うのではなく、当日朝に家の庭や近くの森などから摘んできて、母親にプレゼントします。また、母親はベッドでゆっくりと過ごし、家族がベッドまでプレゼントと一緒に朝食を運んであげる習慣があります。

日本

日本では1931年に、昭和天皇の皇后である香淳皇后の誕生日、3月6日が母の日として制定されました。終戦後、1949年頃にアメリカにならい、日本の母の日も5月の第2日曜日に制定されました。日本ではカーネーションなどのプレゼントを贈るのが一般的ですね。

タイ

～青一色に染まる日～



タイではシリキット国の現王妃の誕生日である8月12日が母の日です。タイ国民は母の日に自分の母親や王妃への尊敬や感謝の気持ちをこめて青色の服を着る習慣があります。これは王妃が生まれた金曜日の色が「青色」と決められていることに由来しています。また、母の日に贈る花はジャスミンの花が一般的です。1年中咲き、純白で良い香りであることから母の絶えない愛情を表しているとされています。

～プレゼント贈ってみませんか～

時計台ショップではカウンター前にて母の日のプレゼントを取り扱っています。用意された数種類の花の中から自分で選んだものを実家に送り届けてもらうサービスで、メッセージカードを付けることもできます。約3,000円～5,400円で取り扱っており、5月9日(金)まで注文の受付が可能となっています。この機会にお母さんへの感謝の気持ちを示してみたいでしょうか?



はみだし
すてーじ

←の方が五月病うんぬん言っているのでピンッと一言いってやってください。
⇒←の方とは一体誰のことでしょうか?

(工・3 柑橘系)
(意地悪してみました;編)

はみだし
すてーじ

五月病発症(4年連続4度目)
⇒健康管理はちゃんとしましょう。私は1回しかかったことないですよ。

(理・3 mathy)
(1年以上治療継続中;編)